

4 番（小川義昭君）

今ほど市長のほうから、これからの高齢者対策の一環として、まず地域包括ケアシステム、これを構築する、そしてこれを推進していくことに努めるということをおっしゃいました。ぜひこれは進めていただきたいというふうに思います。これは市長も御承知のように、この地域包括ケアシステムというのは、やはりこの地域住民の人たちに対して保健サービス、これ健康づくりですね、保健サービス、医療サービス、そして介護ケアとかりハビリテーションなどのそういった介護を含む福祉サービス、そういったサービスを関係者、そして関係機関が連携、そして協力し合って、そしてその住民の人たちのニーズに応じたサービスを一体的に、そして体系的に提供していくというシステムなんですよ。

こういったシステムを構築するということは、やはりこれからの高齢者の方というのは、病気になったら病院に進むじゃなくして、自分たちの住みなれた地域、そして自宅で、本当にその中で安心して暮らしていける、そういったことというのが非常に私は大事なことじゃないかなというふうに思いますので、ぜひこの地域包括ケア、できればこれば中学校区とか、地域にそういったシステム、そういったものを構築していただきたいなというふうに思っております。

それと同時に、やはりこれも市長御存じかと思うんですけども、地域包括ケアシステムの原点というのは、広島県の御調町、今は尾道市に変わっておりますけれども、そこにある公立みつぎ総合病院、この病院が昭和 50 年代の初めに取り組んだ制度だということを伺っております。どうかこれも先ほどの 24 時間対応型サービスと同様、先進事例、そういったものをぜひ参考にさせていただいて、そういったことに対して真摯に取り組んでいただきたいなというふうに思います。

以上でもって私の一般質問を終わります。